

第6回「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会」in新潟 研究発表大会 応募要領 〈2012年3月16日(土)10時15分～12時45分(予定)新潟市万代市民会館〉

1. 研究発表の申込み方法

研究発表を希望される方は、件名を「新潟大会論文発表申込み」として以下をメール本文へ記載し、論集編集委員会 (ronsyuu@yasashii-transport.net) あて **12月15日(土)まで**にお申し込み願います。受付後、申込み受領のご連絡をいたします。

- ①発表者・連名者の氏名
- ②所属(職場、市民団体等)
- ③連絡先(住所、電話番号)
- ④発表論文タイトル
- ⑤発表内容に該当するキーワード(別表に掲載のキーワードから1～4個を選択)

◎研究発表登録料

申込み受領の連絡後1週間以内に、1件当たり **5,000円**を以下の口座へお振込み願います。

なお、領収書が必要な方はお申し出ください。

金融機関名：ゆうちょ銀行(郵便局)

口座種類：振替口座

口座番号：00290-3-67795

口座名：やさしい交通全国大会

2. 論文の提出方法

発表論文は、メールへファイル添付し、論集編集委員会 (ronsyuu@yasashii-transport.net) あてに **平成25年1月15日(火)まで**にご送付ください。**所定のフォーマットのWordファイル**で受け付けます。フォーマットは下記別紙1・2を参照ください。2段組なし・ありの2種類があります。

3. 発表形式

発表はオーラル形式とし、発表用機材は大会主催者が用意する液晶プロジェクターのみとします。OHPやスライドプロジェクターは使用できません。プレゼン用ファイルは、USBメモリまたはCD-ROMに記録して各自持参してください。

提出された論文の各セッションへの配分・発表順序等は論集編集委員会にご一任願います。発表時間は質疑応答を含めて15分を基本とします。ただし、発表数次第では変更することがあります。なお、遠方からの参加により発表順序等のご希望がある場合は、可能な範囲で対応しますのでお知らせください。

◎論集配布

発表者には、大会当日に論集を1部お渡しします。なお会場では論集購入希望者には2,000円で販売する予定ですが、手元にない方もいる点にご留意ください。

<論文・研究発表に関するお問い合わせ先>

第6回「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会」in新潟 論集編集委員会

(ronsyuu@yasashii-transport.net)

別 表

<p>1. 公共交通と私的交通</p> <p>L R T B R T デマンドバス コミュニティバス 自主運行バス デマンドタクシー 自転車（レンタサイクル、ペロタクシー） フリーサイクル P T P S I T S T O D E S T 交通弱者 バリアフリー カーフリーデー バスマップ カーシェアリング モビリティマネジメント アクセシビリティ 交通需要管理（TDM） モーダルシフト 交通結節 パークアンドライド キスアンドライド</p>	<p>3. 人と環境にやさしい移動の技術</p> <p>L R T Electric Vehicle （バス、自動車、電動車いす、二輪車） 大型蓄電システム 発電・充電システム 社会実験 I Cカード 信号制御 交通流シミュレーション</p>
<p>2. まちづくり</p> <p>交通まちづくり 駅前広場 トランジットモール ポケットローディング サイン計画 T O D 回遊性 中心市街地活性化 景観 まちなみ保存 緑化 ゾーニング コンパクトシティ スマートグロース ユニバーサルデザイン 街路計画 道路空間の再配分 コミュニティゾーン 防犯 防災/減災 持続可能性（サステイナビリティ）</p>	<p>4. 人と環境にやさしい移動の技術評価</p> <p>費用便益分析 経路選択 交通需要予測 L C A （Life Cycle Assessment） C V M （Contingent Valuation Method：仮想市場法） 時間価値</p>
	<p>5. 政策提言</p> <p>交通基本法 交通権 シビルミニマム 上下分離 規制緩和 民間活力 税負担 補助金政策 起債 高齢化 地球温暖化 パブリックインボルブメント 合意形成 住民参加 N G O 協働 行政評価 エコポイント 交通教育 都市内物流 成長戦略 官民連携 P P P / P F I 震災復興 地域共生</p>

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (タイトル)

所属、氏名
ホームページ (あれば)、メールアドレス

はじめに

<空白行を 1 行>

1. ○○○○○○○○○○○○○

<空白行を 1 行>

2. ○○○○○○○○○○○○○

<空白行を 1 行>

3. ○○○○○○○○○○○○○

<空白行を 1 行>

4. ○○○○○○○○○○○○○

<空白行を 1 行>

おわりに

<空白行を 1 行>

参考文献<必要により>

<原稿作成時は、これは削除>

原稿作成上の注意事項

- 1) 題目は簡潔明瞭とし、あまり長くしない。
- 2) 以下のページ設定を基本とする。
余白：上下左右とも 25mm
文字数・行数：21 文字×38 行×2 段
フッター：10mm
フォント：MS 明朝 10.5pt
- 3) ちょうど 2 ページとなるよう、1 ページ当り行数を 30～45 行の範囲で増減させて構わない。
- 4) 題目・項目名・本文とも、フォント設定は変えない。
- 5) 項目番号は本例では 4 までだが、増減は自由。項目内を (1) (2)・・・等と細分化しても構わない。
- 6) 最初の項目は「はじめに」、最後の項目は「おわりに」とする。
- 7) 各段落の頭は全角 1 文字の空白を入れる。
- 8) 項目と項目の間は空白行を 1 行入れる。
- 9) 図表は必要に応じて入れ、あまり小さな文字は使わない。
- 10) 「脚注」機能は使わない。
- 11) ファイル名は寄稿者の苗字とする。
- 12) このファイルは「2 段組あり」なので、2 段組しない場合は「2 段組なし」を使用する。